

事務事業名 市制施行50周年記念事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：1935

施策：	16	開かれた市政の推進	財務コード	--
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	企画政策部
基本事業の 成果指標			担当課	企画政策課
			担当係	企画政策担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和03年度 ~ 令和04年度		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民			50周年記念事業を（株）西日本新聞社に委託し、様々な特別記念事業、各課主催の冠事業を実施。 【スケジュール】 R3.11.30 契約 R3.12~ スケジュール、記念誌、記念動画、記念事業等の打ち合わせ R4.4.1 オープニングイベント R4.4~ 各種記念事業打ち合わせ及び事業実施 R4.11.6 記念式典 R5.2~3 市制施行50周年事業まとめ 【主な特別記念事業】 ・市民参加型創作劇 ・物産販売会 ・二日市温泉温泉絵制作 ・あびす醤油の味噌づくり体験 ・健康セミナー ・フードドライブ						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			市民一人ひとりが、市制50周年記念事業に関心を抱き、本事業を通じて筑紫野市との関係性を再認識し、過去、現在、未来に意識を向ける契機となること、また、市民が一体となって事業を盛り上げることを目指す。						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
特別記念事業の実施数		回		20		0			
						0			
5. コスト									
事業費		計	千円	4,295	10,590				
		国	千円	0	0				
		県	千円	0	0				
		地方債	千円	0	0				
		その他	千円	0	0				
一般	千円	4,295	10,590						
正職員人工数		人工	0.4	1.1	0	0			
正職員人件費		千円	3,168	8,501	0				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	7,463	19,091	0				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		特別記念事業は委託事業者と連携をとりながらあらゆる事態に対応出来るよう準備を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により縮小した事業もあるが20事業を実施。冠事業についても規模縮小や中止をせざる得ないものがあつたが可能な範囲で事業が実施された。11月6日の記念式典には来賓含め411名が出席した。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）			新型コロナウイルス感染症や災害など不測の事態による影響があつたが、委託事業者や関係機関と連携して取組んだ。記録を整理し、60周年事業につなげていきたい。						
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
一人でも多くの市民に周年を周知すること、この街にある自然や存在する人々と生涯暮らしていくことを意識づける契機としてこの事業を実施するもの			【主な冠事業】 ・筑紫野市民水泳大会 ・自然観察会 ・はたちのつどい ・市民体育祭 ・ちくしの人形劇まつり						